

社会科学習指導案

日 時：平成18年11月1日(金)5校時

学 級：1年A組(男子14名・女子14名・計28名)

授業者：教諭 芳賀友孝

1 単元名 第4章 近世の日本と世界 第1節 世界の動きと全国統一

2 単元の目標

- (1) 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に対して関心を持ち、意欲的に追究できる。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係を通して、歴史の流れと文化の特色を多面的に考察できる。
(社会的な思考・判断)
- (3) 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に関する絵画や文献などの資料を活用し、考察した結果をまとめることができる。
(資料活用の技能・表現)
- (4) 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航を、世界の歴史を背景に理解できる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元について

本単元の学習指導要領「第4章 近世の日本と世界 第1節 世界の動きと天下統一」に関わる部分では、ア「戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解させるとともに、その文化の伝来がわが国の社会に及ぼした影響について考えさせる。」、イ「織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係のあらましを通して政治や社会の大きな変化を理解させるとともに、武将や豪商などの生活文化の展開に気づかせる。」となっている。

日本の中世とは、鎌倉時代から江戸時代が始まるまでの約400年間である。武士身分が政権を取り支配をすすめていく時代であるが、その様相は鎌倉時代や室町時代前半と戦国時代では大きく異なっている。朝廷や幕府の力が弱まり、戦国大名による合理的な領国経営が進められた時期である。戦国時代は戦いの時代であったと同時に「土地開発・産業発達の時代」でもあった。そこで生まれた新しい社会状況が、近世社会の基礎となっていく。また、この時代は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康によって天下統一を目指した新たな政権が樹立され、政治・文化の面で大きな変革がもたらされた。また、ヨーロッパ諸国が日本に接触をもち、鉄砲の伝来・キリスト教の布教など、社会的にも変化が現れた時代でもある。まさにこの変化の狭間にあり近世社会に大きな影響を与えた者が、織田信長であり、豊臣秀吉・徳川家康であった。

この先駆けである織田信長の全国統一に向けた取り組みを追いかけながら、中世から近世へと移り変わっていく時代の流れをとらえさせたいと考えている。

(2) 生徒について

生徒は、歴史的な事象を多面的に見たり、関連づけて考えたりすることがまだまだ苦手である。思いつきや当てずっぽうの発言が多く、何故そう思うのか。どうしてそう考えたのかと聞いても、ほとんどの生徒から「分からない」「何となく」「・・・」と言った反応が返ってくる。

本時は導入に、「私は誰でしょう」というクイズ番組のコーナーを取り入れることで、小学校での既習事項を振り返らせたい。また、VTRを利用することで、生徒の興味関心を少しでも高めたいと考えている。

(3) 指導について

生徒は、小学校で2時間かけ「織田信長」については「長篠の戦い - 鉄砲を使った戦い」「桶狭間の戦い」「室町幕府を滅ぼす」「比叡山延暦寺の焼き討ち」「一向一揆への対抗」「安土城の築城」「商人に営業の自由を認める」「キリスト教の保護」「明智光秀により命を落とす」ということを学習している。本時に関わっては、これらの歴史的事項については簡単に復習する程度に扱い、特に「仏教弾圧」と「楽市楽座」に焦点を当て、中世から近世へと移り変わっていくまさに分岐点ともなる時代の変化が織田信長の取り組んだことを中心に流れていくをおさえさせたい。

4 指導計画（5時間扱い・・・3 / 5）

第4章 近世の日本と世界

1 世界の動きと全国統一

- 1 結びつけられた世界
- 2 鉄砲とキリスト教
- 3 天下統一をめざして（本時）
- 4 天下統一
- 5 城と茶の湯

5 本時の指導と評価

(1) 目標

織田信長の台頭について理解させる。

天下統一を進めた信長の仏教弾圧と楽市楽座の政策について、中世と近世を比較しながらとらえるさせる。

(2) 評価規準と具体の評価規準

評価規準	A：「十分満足できる」	B：「概ね満足できる」	C：努力を要する生徒への手立て
織田信長の台頭について理解する。 （知識・理解）	信長の人物像に関心を持ち、天下統一にむけて取り組んだ事項を述べることができ、さらにその生涯や逸話などもおさえようとする。	信長が天下統一にむけて取り組んだ事項を述べることができる。	調べ作業では、ページや場所を指示する。
天下統一を進めた信長の仏教弾圧と楽市楽座の政策について、中世と近世を比較しながらとらえる。 （思考・判断）	信長の政策によって信長以前と以後の変化を指摘できる。	信長の政策を指摘することができる。	仏教弾圧と楽市楽座の政策を比較する表の整理を指示する。

(3) 本時の展開

	学習内容	指導上の留意点・支援	評価の観点・資料
導入 10分	<p>1 インタビューしている相手の「私」は誰か考える。 ・分かった時点で、学習プリントの1に記入する。</p> <p>2 「私」を公開する。</p>	<p>・ポイントを紙板書で整理する</p> <p>・人物名が分かった時点のヒント番号と名前を記入させ、無言で挙手させる【自己決定感】</p> <p>・画像でテレビ画面に映し出す。</p>	<p>・真剣に考え、小学校での既習事項を思い出そうとしているか (観察・プリント記入)</p>
<p>学習課題</p> <p>織田信長は天下布武のために何をしたのだろうか？</p>			
展開 35分	<p>3 信長について、他に知っていることを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽市楽座をした。・鉄砲を使った。 ・鳴かぬなら殺してしまえホトトギス ・長篠の戦い・桶狭間の戦い ・安土城・室町幕府を滅ぼした <p>4 信長の政策について確認する</p> <p>○桶狭間の戦い</p> <p>仏教勢力の弾圧による変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武力を持っていた(僧兵) ・財産をもっていた(座・荘園からの収入) ・政治に口出ししていた <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治に口出しできなくなる <p>楽市・楽座による変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の者が生産・販売していた ・高価になる ・品質が劣化する <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工業の発展を促した <p>5 本能寺の変について説明する</p>	<p>・既習事項や自分の知識を自由に発表させる。</p> <p>・自分が気づかなかった(知らなかった)所に注意して聞くように指示する【他者受容感】</p> <p>・VTRを使用する</p> <p>・仏教弾圧と・楽市・楽座については信長以前と以後の違いを比較する</p> <p>・座による営業の独占についてはP54学習プリントで確認させる</p>	<p>・積極的にプリントに記入し発言しているか (観察・プリント記入)</p> <p>・工夫をとらえているか (観察)</p> <p>・比較することで、信長以前と以後の違いを理解することができたか (観察)</p>
まとめ 5分	<p>6 信長をどんな人物と思うかまとめる。</p>	<p>・自由に記述させる</p>	<p>プリント記入</p>